

2016 年度 オレオマテリアル部会(関東支部)セミナー

『バイオマテリアル研究の最前線 ～再生医療から3D プリントまで～』

オレマテリアル部会では各種のセミナーやシンポジウムを開催して、油化学関連分野における機能性素材・材料の創製や応用に関わる研究開発について、意見交換や情報提供を行っております。

本年は、今話題となっているバイオマテリアルに焦点を当て、産学多方面から著名な方々をお招きし、ご講演いただきます。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

日 時:平成 28 年 11 月 10 日(木)13:30~17:00

主 催:日本油化学会 オレオマテリアル部会

協 賛:日本化学会、日本化粧品技術者会、他

会 場:東京理科大学神楽坂キャンパス 1 号館 17 階記念講堂

東京都新宿区神楽坂 1-3、飯田橋駅下車、徒歩 3 分 <https://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

【演題と講師】

13:30~14:30 『iPS 細胞を用いた三次元組織作製のための基盤技術の開発』

横浜市立大学大学院 医学研究科 臓器再生医学

村田 聡一郎 氏

移植医療におけるドナー臓器の絶対的不足を解決するために、iPS 細胞などの多能性幹細胞を用いた臓器創出技術が求められている。我々は、複数の細胞間相互作用を活用することにより、ヒト iPS 細胞から器官原基の創出を可能とする革新的な三次元培養技術を確立してきた (Nature 2013, Nature Protocols 2014)。この器官原基を生体内へ移植することにより、機能的組織を創出することが可能である。

14:30~15:15 『毛髪再生医療の実用化に向けた取り組み』

株式会社資生堂 リサーチセンター 相馬 勤 氏

近年、新たな治療法として細胞移植や再生医療が注目されており、退縮と再生を繰り返す器官である毛髪もその対象として研究開発が進められている。本セミナーでは、新たな法整備の状況や細胞加工施設に関して概説すると共に、毛髪再生医療の実用化に向けた動向について当社の取り組みも交え紹介する。

15:15～15:30 休憩

15:30～16:15 『最新の動物を用いない皮膚評価代替試験法について』

株式会社ニコゲームリサーチ 京谷 大毅 氏

近年、特に化粧品分野における有効性および安全性評価試験の動物実験廃止に対する動きが世界的な流れになってきている。各国で様々な動物実験代替試験法が開発されており、安全性試験については、公的にガイドライン化された試験も増えている。有効性試験についてはオリジナリティの高い評価系が開発されている。今回、最新の複雑な三次元皮膚モデルを用いた評価試験や、ex vivo の皮膚評価試験について紹介する。

16:15～17:00 『国産 3D プリンタの狙いと活用事例』

株式会社キーエンス マーケティング事業部 販売促進グループ
塩崎 暁 氏

思い通りの形を簡単に手にすることが出来る 3D プリンタ。業界を問わず様々な分野で急速に利用が広がっている現況を 3D プリンタの方式、方式別の特徴を踏まえ報告する。また国産メーカーであるキーエンスの狙い(高精細&簡単さ)について実際の活用事例を挙げながら紹介する。

■セミナー終了後、同講堂 17 階 大会議室にて、ミキサーを開催致します■

【申込み&問合わせ】

申込み: 当日受付も可能ですが、事前に必要事項(氏名、所属、連絡先、参加費額、ミキサー参加の有無)をご記入の上、下記 E-メールにてご連絡をお願いします。

参加費: 学生 2,000 円 正会員 5,000 円 法人会員・協賛学会個人会員 6,000 円
会員外 10,000 円(テキスト代込み、当日会場にてお支払い願います)。

ミキサー: 4,000 円

連絡先: 花王株式会社 開発研究第一セクター メイクアップ研究所 宮崎 志洋 (部会幹事)

E-mail: miyazaki.yukihiro@kao.co.jp

申込み締切り(ミキサー参加の場合): 10 月 28 日 (金)